



広報マン
フォトレポート

鳩山夏の体験記

7月から8月にかけて、町内ではさまざまな体験教室が行われました。今月号では、その中から5つの体験イベントの様子をご紹介します。

スペインッシュオムレツを切り分ける参加者（おやこ食育教室・8月8日）▶

パスタの生地を伸ばす参加者（親子でクッキング！・8月12日）▼



料理から学ぶ

親子でクッキング！
おやこ食育教室

町保健センターでは、鳩山町食生活改善推進員（ヘルスマイト）の主催・協力により、8月8日に「おやこ食育教室」、8月12日に「親子でクッキング！」を実施しました。「おやこ食育教室」では、バランスの取れたメニューとして、参加者が主食・主菜・副菜・デザート^{デザート}の4品を料理しました。「親子でクッキング！」では、親子で手打ちパスタに挑戦。生地を練ったり伸ばしたりする作業やミートソース作りなどを、笑顔で楽しんでいました。

図書館を知る



1日司書 町立図書館で本の貸し出し業務を体験する参加者

町立図書館では、8月の4日間、町内の小学生を対象に「1日司書」を実施しました。参加者は、図書館の仕事について説明を受けた後、本やビデオなどの貸し出しや返却を受け付ける仕事や、本を棚^{はいか}に戻す配架、本へのカバーかけなどを体験しました。

参加した子どもたちは、「本などをたくさん借りる人が多くて、受付が大変だった」「配架の作業が楽しかった」などと笑顔で話していました。

福祉を学ぶ

夏のボランティア体験

【写真右】点字で手紙を書く親子、【写真右下】点字で書いた手紙を視覚障がい者に渡す参加者



町社会福祉協議会では、町民を対象に、高齢者や子ども、障がい者、各種施設の方との交流や募金活動などを行う「夏のボランティア体験」を実施しています。今年は、全14メニューに90人の応募がありました。

8月4日には親子点字体験が行われ、参加者は点字の基本を学んだ後、点字を使って手紙を書きました。普段経験することが難しい体験をした参加者は「楽しかった。実際に使ってみよう」と話していました。



【写真右】瓦を丁寧に成型する参加者（7月27日）、【写真右下】粘土を練る参加者（8月3日）

鳩山町がかつて武蔵国分寺建立時に瓦を供給していたことから、町と東京都国分寺市は連携して「古代瓦づくり体験」を実施しています。

7月27日、8月3日の2日に渡り、町農村公園内のまつぼっくりで行われたイベントには、国分寺市民を含む、老若男女計71人が参加。瓦を作り終えた参加者は、「1枚作るのに大変な労力と時間がかかった。昔の人はこれを何千枚も作っていたと思うとすごい」と、汗を拭いながら話していました。

このイベントで制作した瓦は、後日農村公園内に設置されている復元窯で焼成した後、国分寺市が進めている史跡武蔵国分寺跡整備事業において、講堂基壇の一部として使用される予定です。



古代はを馳せる

鳩山町・東京都国分寺市
連携事業
古代瓦づくり体験

工芸に触れる

ガラス工芸体験



◀とんぼ玉づくりでガラスを熱する参加者（7月26日）

多世代活動交流センターで、「夏休み子ども体験講座 チャレンジガラス工芸」が行われ、町内の小学生延べ44人が参加しました。

7月26日は色ガラス棒をガスバーナーで加工してストラップを作る「とんぼ玉づくり」が、8月5日はガラス製の皿に砂を吹き付け（サンドブラスト）模様をつける「オリジナル絵皿づくり」が行われました。絵皿を完成させた参加者は「楽しかった。実際にお皿を使いたい」と満足そうでした。



◀オリジナル絵皿づくりでサンドブラストを教わる参加者（8月5日）

ガラス工芸体験工房 参加者募集

日時：毎週土曜日 午前10時～正午（予約制）費用：とんぼ玉（2個）1,000円、ガラス絵付け（1個）800円 問合せ：はとやまがらす事務局 金子 ☎ 296-4812 ※留守番電話にお名前と電話番号を入れていただければ、折り返しご連絡します。